

# 総務・水道

## ◆一般会計当初予算

新駅開業に伴うバス路線網は、

交通行動実態調査の結果、

中島など三輪野江地域からの

利用意向が多く、事業者と調

整して路線を考えました。ま

た、日中の買い物、通院等の

要望から市内循環バスが実施

されることになりました。

新駅への市民サービスセン

ターの設置は。

現在は吉川美南駅への市



吉川美南駅開業により、新たなバス路線が整備された

民サービスセンターの設置は考えていません。震災などによる市税の動向は。個人市民税は、前年より給与所得が0.9%の減ですが、年少扶養控除などの上乗せ分の廃止などから全体では1億7千万円の増収を見込

賛成全員で可決

## ◆水道事業会計当初予算

石綿管の布設替えの計画は。

今年度は6km弱で、平成

30年度にはすべて終了する

予定です。

吉川市の水道料金は高いか。

基本料金だけを見ると高

いようにみえるが、使用水量別でみると特に高い状況ではありません。

賛成全員で可決

## ◆市職員の給与の改正

内容と実施時期は。

人勧で現給保障制度の廃

止が勧告され、平成27年4月

までに段階的に廃止します。

賛成全員で可決

## ◆一般会計補正予算

マイナンバーの市の取り組みは。

社会保障と税に関わる番

# 建設・生活

## ◆市道の路線認定及び廃止

について

常磐道北側の市道を廃止す

るが、常磐道南側は。

北側は協定により市道認定

し、市が管理していたが南側は

完成時より県が管理している。

賛成全員で可決

## ◆一般会計補正予算

用排水路整備事業費が減額

となっているが、どのくらい

整備されたのか。また県の補助金の余りは返還になるのか。

延長は平成23年度分

157.6mの施工である。

県費補助の内示を受けてか

ら発注するため、補助金の返

還はない。

賛成全員で可決

## ◆一般会計当初予算

DV防止地域サポーター制

度の目的と役割は。

地域におけるDV防止の

啓発が目的である。被害者の

相談・支援ではなく、DV防止やDV支援センターについて地域に発信し啓発してもらう。

GAP実践事業費補助金に

ついて説明を。

GAP実践事業とは、生産

から出荷にいたるまでの安

全性のチェック管理体制マ

ニユアルの作成、研修会の

開催などで、事業主体は「く

らしの里」である。

予算に総合防災訓練費の計

上がないが24年度は実施し

ないのか。

号制度（マイナンバー）は、社会保障を的確に給付するために必要との考えもあるが、一方で情報漏えいの問題もあり、現在国会で議論されている。

賛成全員で可決

## ◆水道事業会計補正予算

水道使用量の放射能影響は。

節水機器の普及で使用水

量が減ってきているが、平成

23年度は原発の影響もある

のではないか。

賛成全員で可決

## ◆下水道事業特別会計予算

賛成全員で可決

## ◆農業集落排水事業特別会計予算

賛成全員で可決



委員による路線視察